

平成24年度第2回 新たな観光の核づくり認定事業 提案説明書

提 案 者 名	大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会		
担 当 者	所 属	大磯町建設経済部産業観光課長	問合せ電話番号 0463-61-4100(260)
	氏 名	岩田隆吉	電子メール sangyo-k@town.oiso.kanagawa.jp
提 案 の 名 称	三つの舞台を中心にニューツーリズムによる日本一の保養地再生		
対 象 地 域	大磯町		
(1) 提案の概要			
大磯町は、平安時代末期には相模の国府が置かれ、江戸時代は東海道の宿場町として、明治以降は東海道線の開通や日本初の海水浴場の開設により、政財界人や文化人の別荘(注1)が建てられ、首都近郊の気候温暖な避暑地・保養地として栄えた。明治41年の日本新聞社実施の全国避暑地百選では大磯町が第一位に選ばれている。 江戸時代に鳴立庵を創設した崇雪によって建立された標石の裏に「著盡湘南清絶地」と刻まれ、大磯は「湘南」発祥の地と言われている。この湘南を冠した「湘南国際マラソン」が大磯を舞台に毎年行われ、約2万人のランナーが湘南海岸沿いのコースを走り、応援に来られた同伴者と一緒に大磯の良さを満喫し、心身ともにリフレッシュをしている。 保養地として多くの人に愛された自然環境、培われた歴史・文化環境等は、大きな変化を受けずに平成の時代に受け継がれてきている。また、大磯港の再整備や県立公園となった旧吉田茂邸の再建など新たな魅力が今後加わる。 ゆっくりと時を刻んで磨かれてきた地域資源と今後新たに加わる地域資源、これらの地域資源を十二分に活かして、次のニューツーリズム(注2)などの事業を展開し、大磯町を“強力なマグネット力”でスローライフが似合う国際保養地としたい。 ○大磯丘陵を舞台に「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化(注3)による観光保養地づくり ○邸園文化交流園(街道沿い)を舞台に「邸園文化＋地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設を創出 ○こゆるぎの浜を舞台に「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり、英国のブライトン市との連携 (注1)政財界人や文化人の別荘・・・湘南発祥の地“大磯”は明治期の避暑地として栄えた別荘文化の佇まいが残る「湘南の奥座敷」。歴代総理8人が邸宅を構えた保養地として栄えた。 (注2)ニューツーリズム・・・従来の旅行とは異なり旅行先での人や自然とのふれあいが重要視された新しいタイプの旅行である。旅行会社が主導ではなく、地域の立場から特性を活かす事が一番大事であるため、地域活性化につながる新しい旅行の仕組みである。内容としては、産業観光・エコツーリズム・グリーンツーリズム・ロングスティ・文化観光などが含まれる。 (注3)6次産業化・・・農業や水産業などの第1次産業と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出。			
提案者名	大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会		

大磯丘陵



高麗山



みかんと富士山



田園風景



旧東海道松並木



海水浴場



アオバト

建築物等



運動公園とチャレンジフェスタ



高来神社



旧木下家別邸



滄浪閣



再建する旧吉田茂邸



大磯港

文化



山神輿



東の池のハス



国府祭



鳴立庵(俳諧道場)



湘南国際マラソン



左義長

邸園文化交流園



こゆるぎの浜



現状と課題



(現状)

先人たちが培ってきた歴史・文化、山と海に囲まれた自然などの豊かな環境を観光資源として活かすことにより、魅力的なまちづくりを進めている。

(課題)

旧別荘の保全活用、旧吉田茂邸の再建、産業の活性化、大磯港の活性化、スポーツ・レクリエーション活動の充実などが課題となっている。

(3) 提案の内容 ①達成・実現しようとする内容や効果(1)

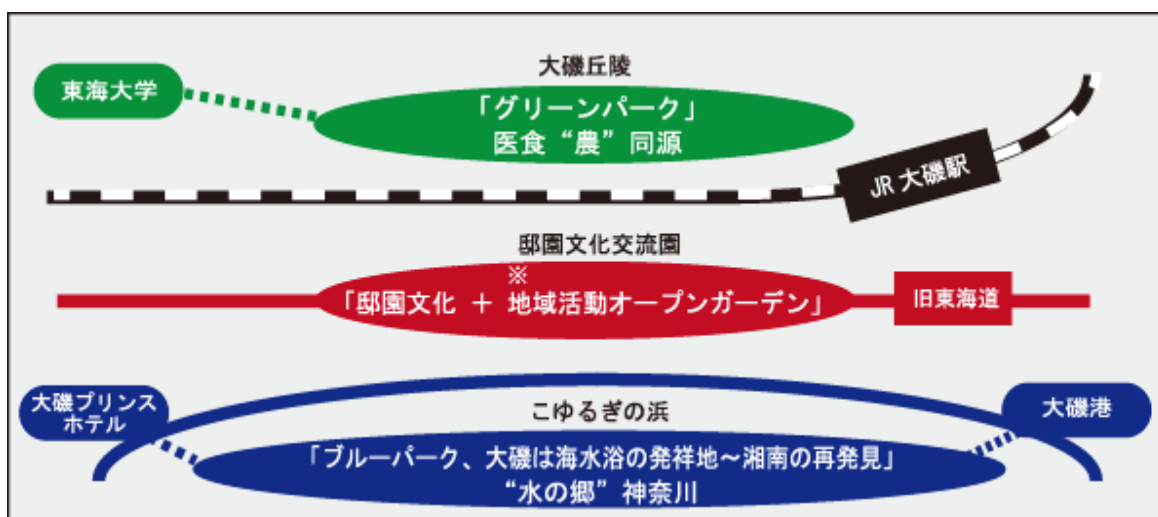
- 「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり
- 「邸園文化+地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設の創出
- 「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり、
英国のブライトン市との連携

※グリーンパークとブルーパークはそれぞれの地域を公園と見立てる。



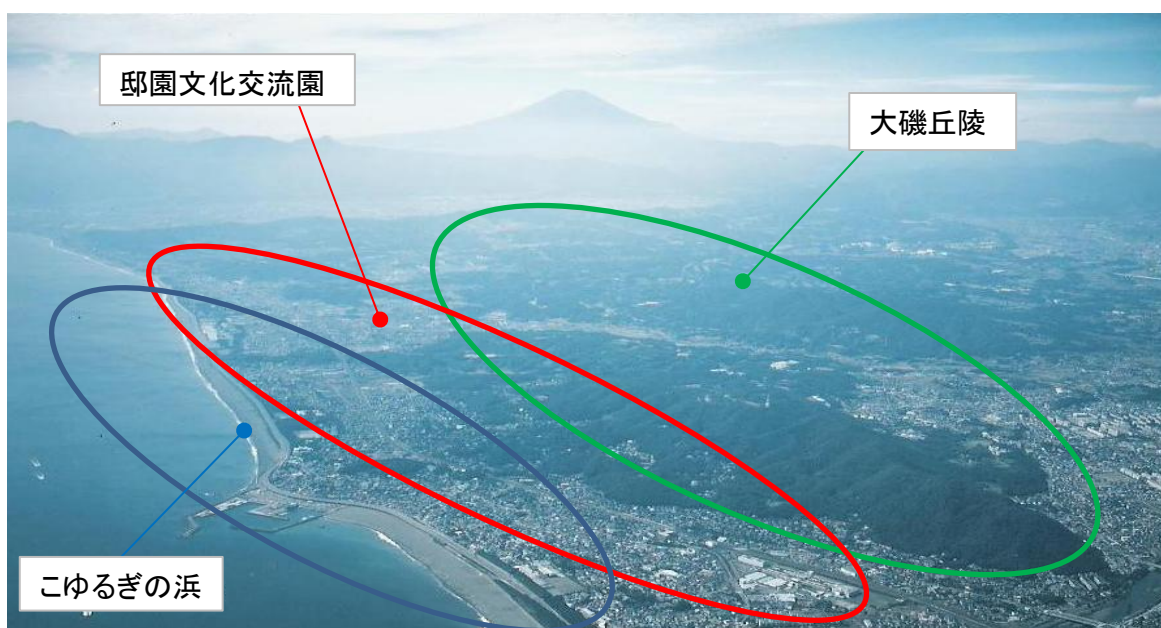
三つの舞台を中心にニューツーリズムによる日本一の保養地再生

コンセプト



※個人の庭を公開するオープンガーデン(町民同士のコミュニケーション・グリーンボランティア)大磯町に約60件が参加

大磯全景



提案者名 大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会

(3) 提案の内容

①達成・実現しようとする内容や効果(2)

大磯町にはゆっくりと時を刻んで磨かれてきた素晴らしい宝物(地域資源)がある。例えば、湘南発祥の地、海水浴発祥の地と別荘文化(邸園文化)の佇まいが残る。これを最大限に活かすために民間資本を導入し、持続可能な“**マグネットカ**”を発揮できるプロジェクトを実現する。

三つの舞台を中心にニューツーリズムによる“日本一の保養地再生”を目指す

構想	対象	内容	効果
「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり	農地&農業施設	グリーンツーリズム・ヘルスツーリズム等や6次産業化による農業を体験・学習・交流する場と、森林浴やウォーキング等による健康・スポーツ・レクリエーション活動の場として活用	・交流人口の増加 ・健康の増進 ・スポーツ人口の増加 ・雇用の拡大
	森林&運動公園		
「邸園文化＋地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設を創出	旧別荘地&歴史的建造物	石原和幸ガーデナーによる庭園(邸園)をプロデュース。 歴史的建造物は、カフェ&レストラン・ショップ・美術館・交流館として利活用	・交流人口の増加 ・定住人口の増加 ・商業の活性化 ・雇用の拡大 ・観光客の増加 ・魅力度のアップ
	オープンガーデン(グリーンボランティア)	町民同士によるコミュニケーションを、石原和幸とのコラボレーションによる花があふれる大磯町を創出	
	旧吉田茂邸	平成27年度に再建される旧吉田茂邸が開館の予定	
	鷗立庵	俳諧など日本文化を体験等する施設として活用	
「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり、英国のブライトン市との連携	大磯港	ブルーツーリズム等や6次産業化による漁業・遊漁を体験・学習・交流する場、特産物等の直売所・飲食店として活用	・交流人口の増加 ・健康の増進 ・スポーツ人口の増加 ・大磯のイメージアップ ・雇用の拡大
	こゆるぎの浜	ヘルスツーリズム・スポーツツーリズム等による海水浴・砂浴の健康づくりの場、アオバト・磯・地引き網・サーフィン・ビーチテニス・ビーチフットー等の自然やスポーツ等の体験・学習・交流する場として活用。英国のブライトン市との連携	
大磯町全般	ゆっくりと時を刻んで磨かれてきた地域資源と、今後、新たに加わる地域資源、これらの地域資源を十二分に活かして、ニューツーリズムによる“日本一の保養地再生”を目指す。		

提案者名

大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会

(3) 提案の内容

②地域資源の活用方策

ゆっくりと時を刻んで磨かれてきた地域資源と今後新たに加わる地域資源、これらの地域資源を十二分に活かして、ニューツーリズムの事業を展開したい。

地域資源	活用方策	構想
 大磯丘陵(運動公園・高麗山)	農業を体験・学習・交流する場、森林浴・ウォーキング・スポーツ・レクリエーション活動の場として活用	「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり
 旧別荘地	地域の環境との調和、オープンガーデン等と連携して、歴史的建造物・庭園(邸園)を活かす飲食店、美術館、物販店、交流館等で活用	「邸園文化+地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設を創出
 再建する旧吉田茂邸	大磯城山公園内の郷土資料館、城山庵とも連携し、吉田茂についての体験・学習・交流する施設として活用	
 嶋立庵	俳諧、茶の湯、生け花、書など日本文化を体験・学習・交流する施設として活用	
 大磯港・自然海岸	大磯港: 漁業・遊漁を体験・学習・交流する場、特産物等の直売所・飲食店として活用 自然海岸: 海水浴・砂浴の健康づくりの場、アオバト・磯・地引き網・サーフィン・ビーチフットなどの自然やスポーツ等の体験・学習・交流する場として活用	「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり、英国のブライトン市との連携
 文化遺産	文化遺産: 左義長、国府祭、史跡、旧東海道松並木などの文化財等をニューツーリズムに活用	ニューツーリズムによるスローライフが似合う観光保養地づくり

提案者名

大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会

歴史と文化の散歩路〔大磯町には宝物がある〕

- ・平安時代末期には相模の国府が置かれる
- ・1885年 日本初の海水浴場“大磯海水浴場”開設
- ・1908年 日本新聞社主催の避暑地ランキングで大磯は1位
- ・湘南発祥の地“大磯”は、明治期の避暑地として栄えた別荘文化の佇まいが残る「湘南の奥座敷」
- ・歴代総理大臣8人が邸宅を構えた



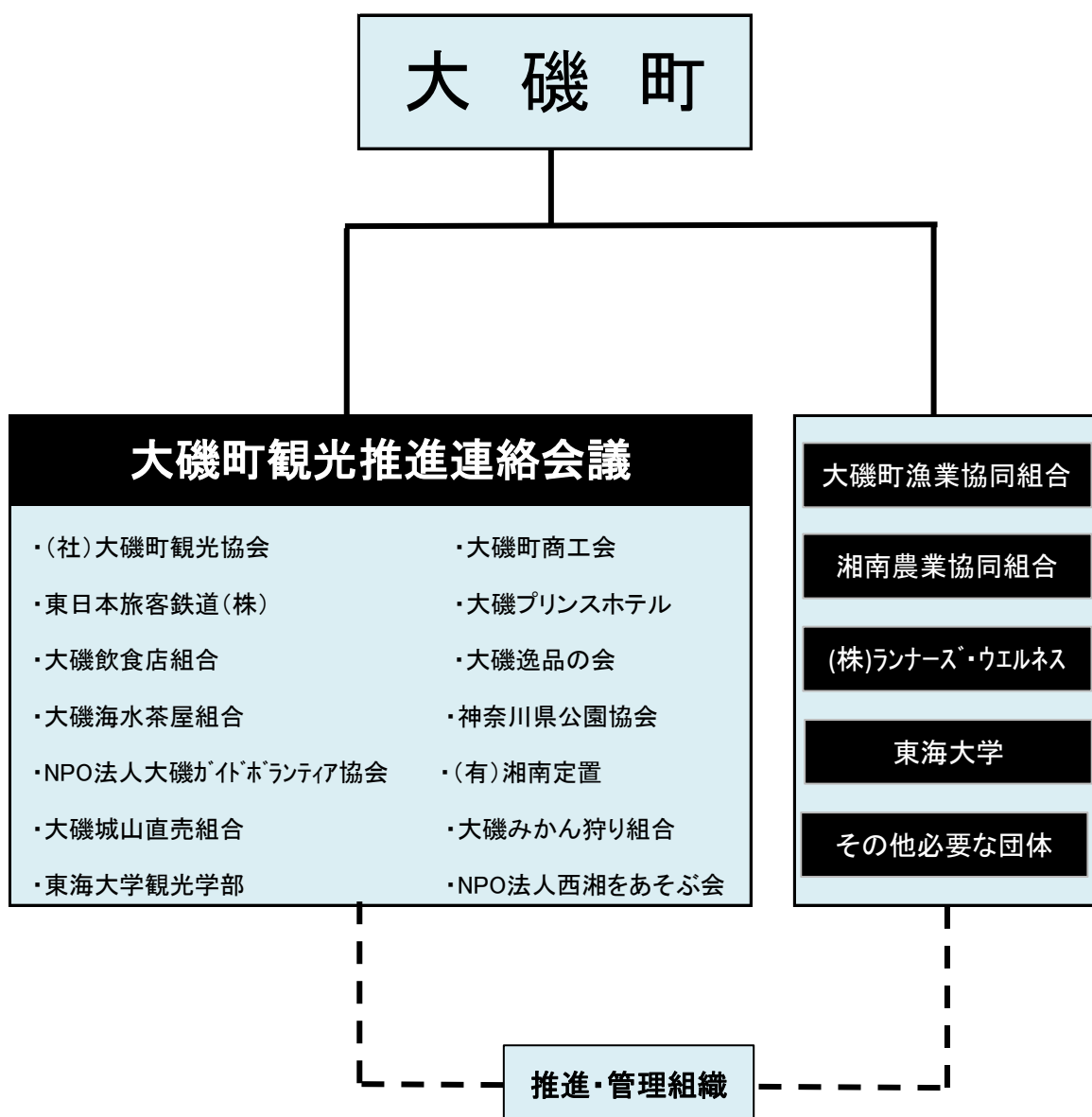
自然と歴史の散歩路〔大磯町には宝物がある〕

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・東海道の松並木や道筋の文化財 | ・国府の里、史跡 |
| ・東海道大磯宿 | ・こゆるぎの浜 |
| ・高麗山湘南平丘陵地帯 | ・照ヶ崎海岸 |
| ・鷹取山と果実の丘陵地帯 | ・アオバトの飛来地 |
| ・大玉柿の里丘陵地帯 | ・大磯ロングビーチ |



三つの舞台を中心にニューツーリズムによる“日本一の保養地再生”を目指す

大磯町には、ゆっくりと時を刻んで磨かれてきた素晴らしい宝物（地域資源）があり、これを最大限に活かすために民間資本を導入。
各事業主体が知恵を出し合い、連携協力して構想の実現に向けて取り組み、**持続可能な“マグネット力”を発揮するという点が「先進的」**である。



■大磯町は事務局として組織運営・行政間調整・事務支援等を受け持つ

■その他のメンバーは連携協力を取りながら事業の実施主体となる

■世界一のガーデナー・石原和幸による庭園プロデュース※

■総合プロデュースは将来的に専門家に依頼

※石原和幸 P12参照

(3) 提案の内容

⑤事業にかかる費用とその調達方法

事業内容【ニューツーリズムの仕掛け】	事業費
「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養施設	10～20億円
「邸園文化＋地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設	
「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養施設	

資金調達	民間資金	10～20億円〔規模による〕
------	------	----------------

■ 嶋立庵の環境整備・旧吉田茂邸再建 5～6億円 公資金

(3) 提案の内容

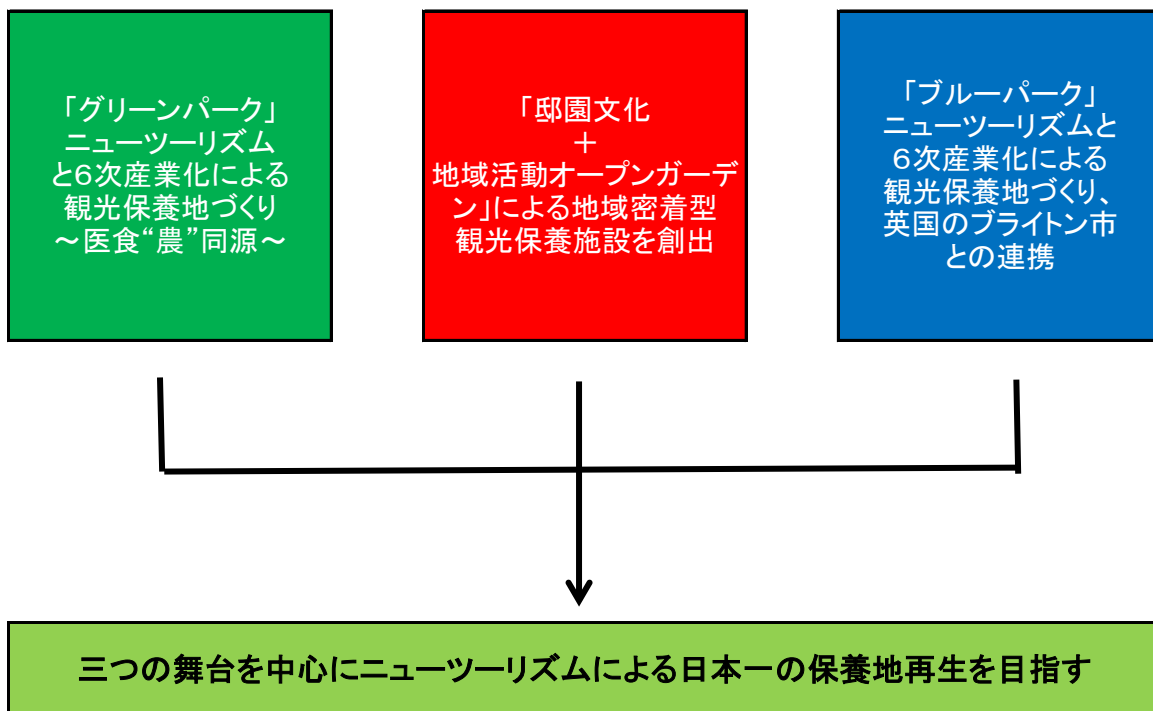
⑥実施スケジュール

事業内容 【ニューツーリズムの仕掛け】	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度～
推進管理組織の 検討設置		検討		
旧別荘地 保全活用の 検討と活用		検討		活用 旧吉田茂邸開館
ニューツーリズムの 検討と創出		検討	創出	
(仮)大磯ブランド 戦略の策定と 大磯ブランドの認定		ブランド戦略の策定	大磯ブランドの認定	
大磯港賑わい 交流施設の 検討と完成			検討	工事
産業連携による 新事業検討と創出			検討	創出

※規制緩和・行政協議・地元協議などの状況によりスケジュールは変動する。

提案者名

大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会



■波及効果

- ①邸園文化圏再生構想とオープンガーデン(町民同士によるコミュニケーション・グリーンボランティア)による、大磯再発見に伴う住民満足度の向上と観光収入の増加が見込める。
- ②大磯は湘南発祥の地、海水浴発祥の地、明治期の避暑地として栄えた別荘文化(邸園文化)の佇まいが残る。ニューツーリズムによるスローライフで、交流・定住による人口の増加が見込め、「日本一」を目指す事で国内・国外の観光客を誘致できる。
- ③三つの舞台を中心にニューツーリズムによる日本一の保養地再生によって雇用の場が創出できる。
- ④神奈川県全体の経済効果を引き上げる事ができる。
- ⑤国際化の進展を図ることができる。

(3) 提案の内容

⑧国際観光地を目指すための取組み

邸園文化圏再生構想

- ・邸宅・庭園や歴史的建造物の活用と、世界一のガーデナー・石原和幸の庭園プロデュースによる“邸園”の創出
- ・旧安田善次郎邸での十五夜観月会や邸園文化を支えた大磯宿の歴史と味の散歩路等の“継続的な文化祭”の創出

湘南・海水浴発祥の地

- ・海水浴・スポーツ・健康のメッカとして、特産物等の直売所と飲食店の充実による観光保養地の創出
- ・英国のブライトン市との連携

おいそフラワーフェスタ開催

個人の庭を公開するオープンガーデン(町民同士のコミュニケーション・グリーンボランティア)による、町全域で花がふれる大磯町を創出

「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり

大磯丘陵の活用と、セカンドライフ+田舎暮らしの体験、ものづくりに親しむ、医食“農”同源のリフレッシュ空間・環境の創出

旧吉田茂邸の再建

- ・大磯城山公園内の郷土資料館や城山庵との連携
- ・吉田茂についての体験・学習・交流する施設として旧吉田茂邸を再建し、魅力的な空間の創出

景観整備

- ・街並み、サインの統一、案内板、パンフレットの整備
- ・緑と歴史が豊かな風格ある街並み景観の保全
- ・旧東海道の面影に調和した豊かで静かな住宅地景観の創出



三つの舞台を中心にニューツーリズムによる日本一の保養地再生を目指す

外国人から見ても魅力的な日本の自然・環境・眺望・歴史・文化・食等を、高品質に提供するプロジェクトを目指す。

提案者名

大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会

(3) 提案の内容

⑨実施上の課題など

国際観光拠点として大磯町の歴史・文化を育み、人々の心に残る景観をかたちづけてきた邸宅・邸園や歴史的建造物を官民協働により新たな文化発信や地域住民と来訪者による多彩な交流の場として保全活用。

地域の活性化につなぐ「邸園文化圏再生構想」実現のために、必要な規制の緩和等が必要である。

提案者名

大磯町・(社)大磯町観光協会・大磯町商工会

チェルシー・フラワーショー(英国)において、4度の金メダルと3つの銀メダルに輝く、世界的なガーデニングデザインを活かして、歴代首相の庭園巡りやオープンガーデン等のデザイン監修。

石原和幸 主な実績

- 羽田空港・第一ターミナル 緑化プロデュース「花の楽園」設計・施工
- 雲仙市 緑のプロデューサー
- 旭川市(まちづくり)旭山動物園 緑のプロデューサー
- ましこ花の博覧会 総合プロデュース及び設計施工
- 宮古島市 トピカルガーデン 総合プロデュース及び設計施工(2015年完成)
- イオンSuica弥富店 エントランス壁面緑化(今後、全国のイオンで展開予定)
- 東京トヨペット 壁面緑化
- ハウステンボス イベントコンサルティング
- 庄原市(広島) 庄原ふるさと大使
- 水俣市 緑のプロデューサー
- NHK BShi ドキュメンタリー番組

「ハイビジョン特集 世界最高の庭づくり 石原和幸」出演 2010.7.3



■フジテレビ 報道番組

「新報道2001」出演 2012.4.22



■テレビ東京 ドキュメンタリー番組

「ソロモン流」出演 2012.4.22

